

## インドと日本の高校生の共学・交流 in 新潟 実施計画

主催 教育と環境の「<sup>さわやか</sup>爽」企画室

- 1 目的
  - ・インドから高校生を招聘し、日本の高校生と交流・ワークショップ等を中心に、日本の小・中・高・大学を見学・交流をし、教育的な経験を積むことにより、双方に国際感覚を醸成させ、友好と世界平和の大切さを知るようにする。
  - ・インドの高校生は、日本の教育・文化・風土に接し、日本への友好・親善の気持ちを高め、帰国後、その経験を友達等に報告し、友好の大切さの輪を広げる。
- 2 日時
  - ・平成 26 年 9 月 16 日（火）～ 9 月 22 日（月）
    - ・宿泊先 1：新潟県立青少年研修センター
    - ・宿泊先 2：ホームステイ宅
    - ・宿泊先 3：ホテル・メイワサンピア
- 3 インド側来日者
  - ・高校生 4 名・Hona Subramanyarn（男子 16 歳） ・Ganga Mamudi(女子 15 歳)  
・Maddi Nagamani（女子 15 歳） ・BinodhBabi（女子 14 歳）
  - ・引率 NGO・New Hope（副代表）校長 Ruth Rose Tumati（女性 49 歳）  
理事 Ranjeet Rose Tumati（男性 29 歳）
- 4 日本側関係者
  - ・高校生 4 名 ・(男子 1 名、女子 3 名)
  - ・引率責任者 JICA 新潟県青年海外協力協会 事務局長 井口 昭夫
  - ・総括 教育と環境の「爽」企画室 代表 片桐 和子
- 5 後援
  - ・(公財) 新潟県国際交流協会（助成）
  - ・(公財) 新潟市国際交流協会
  - ・(特活) にいがた NGO ネットワーク
  - ・新潟県青年海外協力協会
  - ・にいがた青年海外協力隊を育てる会
- 6 協力者
  - ・新潟市地域教育コーディネーター 鶴巻 清美氏
  - ・ホームステイ受け入れ先、通訳、車で送迎ボランティア等
- 7 受け入れ学校
  - ・新潟市立江南小学校（校長 野川 彰夫氏）
  - ・新潟市立西川中学校（校長 渡辺 義光氏）
  - ・東京学館新潟高等学校（校長 遠藤登志弘氏）
  - ・新潟国際情報大学（学長 平山 征夫氏）
- 8 日程

<全日空利用>

9/16（火）デリー（01：30）=<ANA918>=成田（13：20）

9/22（月）成田（18：50）=<ANA917>=デリー（現地時刻 9/23 00：10）

日にち		活 動 予 定	宿泊場所
9/16 1日目	火	・成田出迎え。上越新幹線經由越後曾根。新潟県立青少年研修センター入所 ・夜：センター内で夕食・ミーティング	研修センター ・12名宿泊
9/17 2日目	水	午前：・センター見学 ・新潟県庁訪問・新潟市国際交流協会表敬訪問 ・にいがた NGO ネットワーク表敬 午後：・新潟県国際交流協会表敬訪問 ・朱鷺メッセから新潟市・日本海および新潟平野眺望 夜：・夕食後、お寺で日本文化体験（太鼓、お茶、座禅等）	研修センター ・11名宿泊
9/18 3日目	木	午前：江南小学校訪問 ・体育授業見学 ・講演およびプレゼンテーション ・教室で給食体験 午後：東京学館新潟高等学校訪問 ・書道見学および体験学習 ・講演およびプレゼンテーション ・課外活動見学、交流等 夜：センター内でバスケットボール交流、日本民謡講習	研修センター ・11名宿泊
9/19 4日目	金	午前：海岸・佐潟見学。 新潟国際情報大学訪問・見学 午後：新潟市立西川中学校訪問 ・ランチルームで給食体験 ・スピーチ&生徒会交流 夜：キャンプファイヤー（雨天はキャンドルファイヤー）	研修センター ・12名宿泊
9/20 5日目	土	終日：日本の普段の暮らし体験 （それぞれのホームステイ宅に依頼）	センター退所 ホームステイ宅
9/21 6日目	日	午前：高校生の自由行動（アイスアリーナでスケート体験） 午後：引き続き自由行動（マリソピア等）・活動の反省会 夜：farewell party（メイワサンピア）	メイワサンピア ・宿泊：インド 6名および片桐
9/22 7日目	月	午前：ホテル早朝出発 午後：東京見学（日本 JICA 訪問等）・成田空港まで見送り。	

- ※1) 日本の高校生4人（男子1名、女子3名）は、16日から青少年研修センターに同宿し、17日（水）から19日（金）までの3日間、センターから学校に登下校する。引率はインド側2名の他に、日本側1名も必ず同宿する。就寝前の活動反省会。
- 2) 生徒はそれぞれ分かれてホームステイ4宅のお世話になる。引率2人は片桐宅。
- 3) 各学校で、「爽」企画室、NEW HOPE の講演、高校生はプレゼンテーション等。
- 4) farewell party 招待は、ホームステイファミリー、各学校の受け入れ担当者、通訳や運転（車提供）等のボランティア、過去のツアーメンバー等関係各位

9 予算書（別紙）

10 活動全体の問い合わせ・連絡先

〒950-2045

新潟市西区五十嵐東2-1-25 片桐 和子（教育と環境の「爽」企画室）

電話・Fax：025-260-0568（携帯 090-4748-4104）

E-mail：sawa@topaz.plala.or.jp